

県大 jiman

滋賀県大イベントカレンダー

2月

1月29日(水)~2月4日(火) 後期定期試験
7日(金)~9日(日) 地域活動実践ターム
25日(火)~26日(水) 一般選抜試験(前期)

3月

11日(火)~4月3日(木) オリエンテーション
(在学生)(予定)
12日(水)~13日(木) 一般選抜試験(後期)
20日(木祝) 学位記授与式

4月

3日(木)~5日(土) オリエンテーション
(新入生)(予定)
4日(金) 入学式
7日(月) 前期授業開始

5月

10日(土) TOEICテスト

6月

7日(土) 開学30周年記念行事
体育会「京滋戦」
大学祭「湖風夏祭」

7月

19日(土)~20日(日) オープンキャンパス
30日(水)~8月5日(火) 前期定期試験

▽県大jiman35号についてご意見をお寄せください。
(下記QRコードを読み取ると、Webからアンケートの回答ができます)



特集1

特殊な教室紹介マップ

特集2

環境フィールドワークをのぞき見っ！

特集3

KENDAI NIGHT

教員紹介

突撃!! jiman な先生 大堀 道広 教授

After School Report —— GEARS : Motorcycle

コラム —— USP FASHION GUIDE

県大 jiman

第35号のテーマは「県大Life」です。
皆さんは滋賀県立大学に入学して何年が経ちましたか？
講義、ゼミ、部活動・サークルの時間をこの大学で過ごし、
多くのことを学び、たくさんの人と出会ったのではないのでしょうか。
そしてお気に入りのスポットでの時間は学生生活の息抜きに最適。
本号では県大の特色をまとめました。
知らない県大の魅力を発見してみませんか？

CONTENTS

- 03 特殊な教室紹介マップ
- 05 環境フィールドワークをのぞき見っ！
- 07 KENDAI NIGHT
- 09 突撃!! jiman な先生 大堀 道広教授
- 11 After School Report GEARS : Motorcycle
- 12 コラム USP FASHION GUIDE
- 13 事務局 学生の心と身体の健康サポート

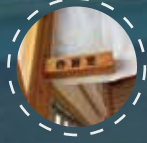
編集後記 テーマ：私の好きな県大の1コマ



図書館のソファ

雑誌を読みながらウトウトと…。
この文章も今ここで書いています。

地域文化学科 3年 小畑 結子



A7 棟自習室

居心地よく勉強できる場所です。
テスト期間中はたくさんお世話になりました。

地域文化学科 3年 清水 理子



考古学の時間

大学にいる時間の中で一番
「大学生」していると実感できます。

地域文化学科 3年 堀 絢音



生協ショップ

お昼ご飯を忘れたとき、
課題のお供（おやつ）が欲しいとき…
いつもお世話になっています。

地域文化学科 2年 知念 武玖



D 棟の夕日

ここから帰るのが好きでした。

OB 高杉 昭吾



帰り道

その日の授業を受け終わって、
すっきりとした気持ちになります。

国際コミュニケーション学科 2年 後藤 玲奈



A2-202 の講義

大きなトコで講義受けるのが
一番「やってる感」あって好き。

材料化学科 1年 北野 凌



図書館の自習スペース

自分だけの空間に感じられてお気に入りです。
空きコマはここで読書したり
課題をしたりくつろいだりしています。

生活デザイン学科 1年 西村 紅葉

年2回発行

夏号7月上旬

冬号2月下旬



Mail:kendajjiman.tw@gmail.com

X (Twitter) :@kendajjiman

学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる
学生を募集しています。

私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。

デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。

外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、

興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

事務局

加藤 一郎
細川 芽衣子

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第35号

発行 | 滋賀県立大学広報戦略委員会

編集 | 広報誌作成グループ

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470

E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp

発行日 | 2025年2月

www.usp.ac.jp

紙面デザイン：学生スタッフ

特殊な教室

今回の特集では学生が普段の授業で使っている教室をピックアップ！実践的な学びを重視している県大には、一人ひとりが専門的な学習を行うことのできる実習室がたくさんあります。

01



人間看護 **環境看護学実習室**

(E1-101)

在宅看護・公衆衛生の実習に特化した設備がある教室。生徒同士で互いに実践します。浴室や洗濯機、畳など、まるで本物の家や施設のような空間が再現されています。

02



人間看護 **シミュレーションルーム**

(E3-102)

病室のようなベッドに管が繋がれた子どもサイズの実習用的人形があります。また、主に1・2年生が使用する基礎看護学実習室には所狭しとベッドが並んでいます。

03



生活デザ **造形実習室**

(D3-301)

デッサン法の実習で使用される様々なモチーフや画材が保管されています。石膏像は迫力たっぷり。写真を撮影するためのスクリーンや照明、三脚もあります。

紹介

マップ



09



全学共通 **大講義室**

(A2-202)

県立大学で一番大きな階段型講義室。スクリーンと連動して映る2つのモニターや電動で上下に動く黒板にわくわくします。

08



生物資源 **圃場実験施設**

(B8)

キャンパスの外れに広がる圃場。水田やビニールハウス、人工気象室などがあります。秋にはコンバインを用いてお米の収穫作業を行います。草地にはヤギもいますよ。休み時間に会いに行ってみては。

07



全学共通 **中講義室**

(A4-302)

自由に動かせるテーブル・椅子と電子黒板、ホワイトボードパネルが揃うアクティブラーニングルーム。グループワークをする授業でよく使われます。

06



全学共通 **情報処理演習室**

(D5-CA1)

情報やプログラミングの授業を行うパソコン教室。A5棟にはこのような部屋が6つもあり、授業外の時間は課題を進めたりコピーをしたりなど自由に使えます。

04



生活栄養 **調理実習室**

(D4-103)

大量調理を行う部屋。徹底した衛生管理のもと調理場や洗い場が区画されており、入り口にはエアシャワーも。学生が栄養バランスにこだわって考えた美味しい料理が数量限定で振る舞われます。

05



機械シス **付属実習工場**

(C2-102)

創造実験や卒論研究で使用される工場。金属加工設備が豊富に揃っています。工場に常駐する技術員さんが実習の補助や委託加工を行ってくださいます。

環境フィールドワークを のぞき見っ！

滋賀県立大学 環境科学部には1～3年生配当の「環境フィールドワーク（環境FW）」と呼ばれる授業があります。前号の『環境をのぞき見っ！』に続いて、今回の特集では環境FWの内容や魅力を深掘り。県大の特徴のひとつとも言える‘フィールドワークでの実践的な学習’がどのように行われているのか、授業を実際に履修した学生の声とともに紹介します。

環境フィールドワーク（FW）とは



環境フィールドワークとは、環境科学部で行われている体験学習型の授業のひとつです。大学を飛び出して実際に調査地に出向き、活動を行うことが大きな特徴です。グループに分かれて行うことで学部内の4学科が分け隔てなく交わることができ、それぞれが幅広い視野を持って取り組むことが目標とされています。

環境フィールドワークの構成

1～3年次に行われる授業は、環境FWⅠ・環境FWⅡ・環境FWⅢから構成されています。

必修

環境FWⅠ

1年生
前期

環境FWⅠでは、フィールドワークの基本を押さえるための授業として、さまざまな学科の学生が複数のグループに分かれて各テーマの活動に取り組みます。



必修

環境FWⅡ

2年生
前期

1年次の内容に比べてより発展した内容に進み、10種類のテーマに分かれて活動を行います。テーマによっては調査したその地で報告を行うことも。



選択

環境FWⅢ

3年生
通年

環境FWⅢは、選択履修した学生が1年をかけて1つのテーマに取り組みます。よってさらに少人数で、かつ専門的な知識を授業で身につけることができます。



過去に授業を履修した先輩の声を紹介します。授業に臨む際の参考にしてみてください。

Voice

1

＼取り組んだテーマ／
琵琶湖生態系の環境動態（FWⅡ）

環境生態学科3年 山川 菜々さん（環境FWⅠ・Ⅱ履修）

履修してよかった点は？

このテーマでは船に乗って琵琶湖の上で実習を受けるという2年生では貴重な経験ができ、水質調査について少人数で先生から詳しく指導を受けるため、琵琶湖の水質について学ぶには最適な環境でした。

テーマを選ぶ際に意識していたことは？

自分がどのテーマについて詳しく知りたいのか、身をもって体験したいのかを意識して選びました。

Voice

2

＼取り組んだテーマ／
竹の未来的利用（FWⅡ）
野生生物学へのアプローチ（FWⅢ） など

環境生態学科3年 吉川 旺葵さん（環境FWⅠ～Ⅲ履修）

選択科目の環境FWⅢを履修した理由は？

FWⅠとⅡは必修であり、テーマも固定あるいは抽選で決定されるなど自身の選択権がありませんでした。私は生物に関する活動かつ自身で決めたテーマに取り組みたかったため、FWⅢの「野生生物学へのアプローチ」というテーマはうってつけでした。

履修後、役に立ったと思うスキルや経験は？

川の調査や竹林見学・動植物の研究などを通して、マクロかつミクロな視点で自然環境を見るスキルが身についたと思います。また実地調査とプレゼンを通してフィールドに対する理解がより深まりました。

実際に授業を受けた

受講生の声

をチェック！

履修後、役に立ったと思うスキルや経験は？

次の学期で履修する水域環境学・同実験での琵琶湖調査では、基本的な作業をFWⅡで学んでいたため、実験作業でつまづくことなくスムーズに進めることができました。また琵琶湖の水質についての知識があるため、結果の考察で理論立てて説明することが出来ました。

履修する人に向けてひとこと

FWでの経験は今後の実験や卒業論文の実験で必ず役に立つため、自分の気になる分野のものを選ぶことをすすめます。また抽選などで希望でないテーマを選択することになっても、レポートの書き方や実験・フィールドワークの進め方というのは研究の基礎になるので、将来に繋がるとして前向きに取り組んでほしいです。



活動の中で印象に残るエピソードはありますか？

環境FWⅠの「県大キャンパスの魅力を探せ」では、各々が自由にテーマを決められるためおもしろかったです。私は大学構内に水車を建造できるかどうか調べるために流速と水深とを計測し、水車に関する文献を読み漁ったことが印象深いです。

履修する人に向けてひとこと

「若い時の苦労は買ってでもせよ」という言葉があるように、FWⅢまで挑戦することは必ず皆さんの財産になります。今後おそらく大学機関を存分に利用できる活動はほとんどないので、後悔のないようどんどん挑戦しましょう！

KENDAI NIGHT

日没後のすっかり暗くなった県大は、昼間とはまた違った姿を見せてくれます。ここでは県大の様々な夜の様子を集めてみました。夜にしかできない県大での過ごし方を体験してみませんか？

Scene 01 カフェテリア

夜のカフェテリア(食堂)はお昼時とメニューが変わります。日替わりの小鉢をはじめとする夜限定メニューを味わってみませんか？ 19時まで営業しているので、日が落ちてもしっかり頑張りたいあなたにおすすめです！



Interview

Q. 何食提供していますか？

A. 夜は 80 ~ 100 食ほど提供しています。小鉢を数種類と、6種のおかずを用意しています。

Q. 人気メニューは何ですか？

A. 小鉢はどれも人気で、18 時にはほぼ売り切れます。小鉢以外ではカツカレーやチキン南蛮、豚汁などの肉を使ったものが人気です。

Q. 工夫していることを教えてください。

A. 学生の皆さんに喜んでもらえる料理と雰囲気が作れるように気を付けています。

Scene 02 勉強スペース

各学部棟や A7 棟にある自習室や A2 棟の学生ホール、図書館では放課後に自習や作業ができます。Wi-Fi 環境が整備されているので、インターネットを利用することもできます。場所によって閉まる時間が異なるため、使用する際は時間に注意しましょう。



▲A7 棟の自習室



▲図書館



▲A2 棟学生ホール

Scene 03 体育館&クラブ棟



▲体育館

夜の体育館では運動系の、クラブ棟周辺では文化系の部活・サークルが活動しています。気分をリフレッシュさせることや仲間との交流ができ、日々楽しく活動を行っています。



▲クラブ棟



▲体育館&クラブ棟

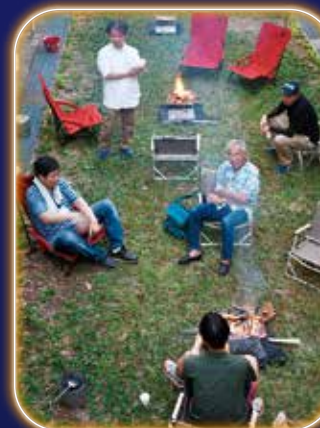
Scene 04 イルミネーション(冬限定)



毎年冬になると、学生サークル「裏方団体 CBO」さんが学内にイルミネーションを飾り付けてくれます。期間中の夜、いつものキャンパスが別世界に生まれ変わります。



Scene 05 県大 TAKIBI TALK



毎月 1 回のペースで行われている県大 TAKIBI TALK。小さなたき火を学生や教員、学外の方々の 30 人ほどで囲み、楽しい談笑タイムを過ごします。中には持参したマシュマロやソーセージを炙る人も…！



突撃!!

jimamaな先生

環境科学部 環境生態学科

大堀 道広 教授

今回は私たちの日常に身近になっている地震について研究されている環境科学部環境生態学科の大堀道広教授にお話をお伺いしました。

Q1 先生の研究について教えてください

私は主に地震について研究しています。特に軟らかい地盤では地震の揺れが強くなり、建物の被害が大きくなることに着目して研究に取り組んでいます。また、地震の研究を進める中で津波や防災のことも興味を持っています。元々は建築について学んでいたのですが、卒論で免震構造について研究した際に免震構造には地震の研究がとても重要なことを知ったことがきっかけで、現在に至っております。ですので、建築や工学の立場から地震の研究をしております。微動探査という地盤の揺れやすさを調べる研究も行っています。この微動探査によって「この場所はちょっと揺れやすい」という情報をわかりやすく整理して、市民の方に知ってもらえたらなと思います。

Q2 地震の研究の魅力的なところはどこですか

私がこれまで地震の研究が続けられたのは、研究が楽しく感じられたからだと思います。研究には一人で行うものもありますが、グループで行うものもあります。研究活動が続けることで、同じ分野に関心を持つ研究仲間が増えていきました。そして、学会や研究会や共同研究などでの仲間との交流が私に居心地の良い時間や場所を与えてくれました。こうしたことを含めて、研究活動全般に魅力を感じているのだと思います。

Q3 日常生活で普段からできる災害対策などはありますか

建物は上の階に行くほど揺れますので、建物の上と下では震度が1以上違うことがあり、耐震性の高い建物の中にも安全とは言えません。室内での揺れへの安全対策として、家具などの転倒防止・高いところからの物の落下防止などの工夫をしたり、寝ている時に家具が自分に倒れてこないように部屋のレイアウトを工夫したりすることがとても大切です。滋賀県は災害が少ないと思っている人も多いようですが、滋賀県でも災害は起きますし、そもそも私たちはいつも滋賀県にいるわけではありません。ですから、旅行中に災害に遭うかもしれないという心構えを持っていてください。

Q4 災害時に私たちが地域に貢献できることはありますか

東日本大震災の時に、何十キロも歩き通して家に帰った人たちも多くいた一方で、次にいつ二次災害がくるかわからないので、居合わせた地域で役に立つことが出来たらと考えて行動した人達もいました。地域に貢献しようと思ったら、まずはその時に居合わせた場所で安全を確保して、災害用伝言ダイヤルなどで家族に自分の無事を伝えるメッセージを残すことも大切だと思います。普段から家族と災害時を想定した話をしてそれぞれの行動の確認をしておきましょう。

余談になってしまうのですが、もし本学で災害が起きたら、先生方も研究室を開放して過ごさせて下さると思います。私の研究室もお役にたてるように、今日から整理整頓をしなければと思います。

Q5 県大のいいところは何だと思いますか

学生のみなさんが礼儀正しくて良い子たちで、これが県大のもっとも良いところだと思います。講義や学部のフィールドワークで多くの学生さんと関わる機会があり嬉しく思います。フィールドワークの班活動の時は、初めて話す方ばかりでしたが、わずかではあります会話ができて楽しい思い出になりました。本学では4年間同じキャンパスで学べるので、他学科、他学年同士で交流する機会が多くなり、いろいろな関係性を作れてとても良いと思います。

Q6 最後に学生に一言お願いします

私は大学院卒業後、一度企業に研究者として勤めていたのですが、会社の方針の変化とともに自分のしたい基礎的な研究ができなくなってしまい、思い切って次の就職先を決めないまま仕事を辞めました。そして、自分が好きな研究に打ち込んでいるうちに、仲間や仕事を得られて人生が豊かになりました。皆さんにお伝えしたいのは、周囲の人の意見は参考程度に留めて、自分のやりたいことを見つけて思い切りやってみて欲しいということです。やりたいことに取り組むうちにさらに好きになったり、得意になったり、生涯の仕事になる場合もあると思います。ここまでいろいろ言ってしまいましたが、楽しい学生生活を過ごしてください。



先生の研究室で学生さんとケーキを楽しんでいる写真△

担当スタッフ：西村 紅葉 小畑 結子 10

After School Report <バイクサークル>

GEARS : Motorcycle

今回の After School Report はバイクサークルである GEARs:Motorcycle さん取材しました。活動内容やバイクの魅力などについて、サークルの立ち上げメンバーである岡林 隼さんにお話を伺いました。

普段の活動内容について教えてください。

月に1回はツーリングに行く決めてます。それ以外ではサークル内で自由に集まってツーリングへ行っています。目的地は募集をかけたときに来るメンバーで決めています。過去に行った大人数のツーリングだと、ピワイチ(交通手段を利用して琵琶湖を一周すること)が一番長い距離です。去年の5月には SSTR(サンライズ・サンセット・ツーリング・ラリー)という、日が昇ると同時に日本列島の東海岸をスタートして、日が沈む前に石川県の千里浜にゴールするイベントに参加しました。

バイクと出会ったきっかけについて教えてください。

父親がバイク好きだったのできっかけです。かなり珍しいと思うのですが、僕は16歳の時からバイクに乗っています。僕の下の名前は隼(はやと)というのですが、この名前は隼(はやぶさ)という名前のバイクの漢字が由来になっています。このバイクサークルは2023年の2月に立ち上げました。僕はピザ配達のアルバイトをしていて、そのバイト仲間のバイクに乗っていた県大生5人でこのサークルを立ち上げました。サークルのロゴマークもピザがモチーフになっています。

バイクの魅力や楽しさについて教えてください。

季節の匂いや気温などを体で感じることができるのはバイクの魅力だと思います。車など移動手段が様々ある中で、バイクも移動手段の1つです。車に乗っていても、気温の変化などを感じることはできないけれど、バイクはトンネルを越えたら空気が変わることを感じられます。その点だと自転車も同じですが、バイクはより遠くまで行くことができます。日本のバイク乗りの文化としていいと思うのが、ヤエーです。ヤエーとはバイクに乗っている人同士が道ですれ違う時に手を振り合う文化です。またバイクだけではないですが、ツーリングに行った先で、普通に生活していたら出会わない人たちと出会うのもバイクの魅力の1つだと思います。実際に僕にも大学外にバイク友達がいます。

今回の県大 jiman のテーマが「県大 Life」なのですが、生活のどのようなタイミングでバイクに乗りたくなりますか？

どこかへ移動するときに晴れていたらバイクに乗りたくなります。サークルがない日にも、1人でよくツーリングに行きます。バイクは雨などの天気の影響されるので、晴れている日には何の目的もなくバイクで走ることもあります。

読者の方に一言お願いします！

バイクサークルに入ってほしいというよりは、バイクに一度乗ってみてほしいと思います。原付でもいいからバイクに乗って遠出をしてみると、魅力に気づくと思います。バイクに乗る人が増えると嬉しいです！



▼ピワイチの様子

▲SSTRの様子



▲GEARs:MC のロゴマーク

活動日: 月1回程度
部員数: 22人
代表: 4年 堀江 祐作さん
連絡先: Instagram @2happy_bike



▲今回取材した3年 岡林 隼さん

担当スタッフ: 後藤 玲奈 清水 理子

USP FASHION GUIDE

滋賀県立大学の気候は春夏秋冬で大きく変化します。暑いと思って薄着で来たたら実際は寒かったといった声が多く見られます。皆さんの中にも服装ミスをしたことがある方がいるのではないのでしょうか？この記事参考に春夏秋冬の服装をチェックしてみてください！

summer

20°C ~ 35°C



県大の夏は急にやってきます！いつでもどこでもとにかく暑いので汗をかくことを考えて服を着よう



彦根は日差しが強い！アームカバーや日傘は必要だよ自転車通学なら忘れないように

県大は冷房設備が備わっていて、部屋によってはかなり寒いこともそういう時のためにもタオルや薄手の服を持っていくと便利！

spring

10°C ~ 20°C

春といってもまだまだ寒い！日中と夕方との寒暖差が激しく最初は驚くかも



上下どちらかを厚めにするならどちらかは薄手でも大丈夫！ただし、半袖を着てくると授業終わりの寒さに身震いするからそこは注意



上着は絶対を持って行こう！いらなと思っていても、帰るころには気温が下がって寒くなるからきつと役立つよ

winter

0°C ~ 10°C

県大の冬はとにかく寒い！琵琶湖風が前へ進むのを阻んでくるから、防寒対策はしっかりしていこう



自転車通学の方は手袋とマフラーと耳当てを用意しよう1月下旬は雪が降るよ！スノーブーツもあるといいね！

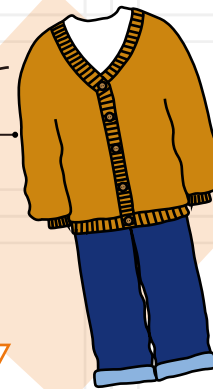


ズボンの下にはタイツを履いて防寒対策！靴下も厚手のものを履いて少しでも寒さに備えよう

autumn

10°C ~ 20°C

春と同じ気温差と思っはダメ！この時期から琵琶湖の風は冷たく、春よりも体感が寒くなるから侮るべからず



風が強くなってからレイヤーは長袖で寒さ対策しようインナーも中に着ているとより防寒になるよ



ストッキングを履いてかわいく寒さを乗り切ろう11月頃からはブーツを履く人が増えてくるよ

担当スタッフ: 堀 絢音 米山 さくら

学生の心と身体のサポート

滋賀県立大学にはより安心して豊かな県大Lifeのために学生の皆さんをサポートする体制があります。今回は、2つの相談室と取組例を紹介します。

健康相談室

MISSION

健康に生きる力の支援

TASK

体調が悪くなったとき、ケガの応急処置、健康全般に関する相談に専門職員が応じます。来室・メール・電話の3つの方法で相談できます。



△保健師
黒橋真奈美さん

MEMBER

保健師1名・看護師2名

VOICE

大学にも高校までの保健室にあたる「健康相談室」があります。学生のみなさんがの健やかな学生生活を送っていただけるようサポートをしています！予約は要りません。悩み事や心配事は一人で抱え込まず、気軽に来てください！

学生相談室

MISSION

豊かで充実した学生生活が送れるお手伝い

TASK

学修や交友関係等の悩みや心配ごとの相談に臨床心理士が応じます。相談の予約は Web から行えます。木曜日は女性のカウンセラーが担当します。



△臨床心理士
山田裕介さん

MEMBER

臨床心理士2名

VOICE

ひとりで抱え込まず、まずは気軽に話してみませんか？学生相談室は、あなたの不安や悩みを一緒に考える場所です。どんな小さな悩みでも、大きな夢でも、ひとりじゃないと感じてもらえるような居場所になればと思っています。安心して扉を開けてください。

このような取組も行っています！

朝食企画「県大おはようキャンペーン」

朝食習慣の定着を目的に、朝食企画「県大おはようキャンペーン」を実施しています。企業や後援会、同窓会のご協力をいただきながら、白米・具だくさん豚汁・選べる小鉢2種を100円で提供する等、様々な朝食支援を行っています。



△令和5年度は全学生の約25%
(延べ3,451人)が参加しました。



△100円朝食のポスター

Healthy Week in 県大

学生自らが、健康にかかわる“体験”を通じ、自らの健康を「知る」「気づく」「動く」「変わる」きっかけを作り、継続した健康づくりを実践できるためのイベントを開催しています。「今」の健康状態を見つめ直し、「将来」につながる健康づくりに向けて、今から行動することを目的とした取組です。



△セルフメディケーション
「ベジチェック」&「Inbody」で
自分の健康をチェックします。



△パパ・ママ体験
「ベビママヨガ体験」「妊婦体験」
「赤ちゃん抱っこ体験」を通して
将来パパ・ママになった際の体験
を行えます。

担当スタッフ：北野 凌 滋賀県立大学事務局

受賞・表彰 (学年は受賞時点)

学 生

- 令和6年度日本植物病理学会大会
学生優秀発表賞
環境科学研究科環境動態学専攻博士前期課程 2年 森 唯香
- 日本レオロジー学会 第51年会
Best Presentation賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1年 木村三士朗
- 第73回高分子学会年次大会
優秀ポスター賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 中村海人
- プラスチック成形加工学会第35回年次大会
優秀学生ポスター賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 澤田奎湖
- プラスチック成形加工学会第35回年次大会
優秀学生プレゼンテーション賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 坂口紀彦
- 日本セラミックス協会 ガラス部会 第55回若手セミナー
奨励ポスター賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 浅野航大
- 第11回日本時間栄養学会学術大会
優秀発表賞
人間文化科学研究科生活文化学専攻博士前期課程 2年 八幡大希
- 第71回日本栄養改善学会学術集会
学生部門(口頭)若手学会最優秀発表賞
人間文化科学研究科生活文化学専攻博士前期課程 2年 八幡大希
- International Discussion Meeting on Polymer Crystallization 2024
Best Poster Award
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 木村三士朗
- 日本金属学会第175回秋期講演大会
優秀ポスター賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2年 星島颯太
- 第65回日本母性衛生学会学術集会
コメディカル愛育賞最優秀演題賞
人間看護学研究科修士課程(助産師育成コース)
令和5年度修了生 森かのん
- 第63回日本栄養・食糧学会近畿支部大会
若手奨励賞
人間文化科学研究科生活文化学専攻博士前期課程 1年 伊藤江美

教 員

- 第62回リバネス研究費 東洋紡高分子科学賞 受賞
工学部材料化学科 講師 伊田翔平
- 16th International Society for Tryptophan Research Conference (ISTRY Meeting 2024)
Best Poster Award
人間文化学部生活栄養学科 講師 畑山 翔
- プラスチック成形加工学会第35回年次大会
若手奨励賞、論文賞
工学部材料化学科 講師 木田拓充
- マテリアルライフ学会第35回研究発表会
総説賞
工学部材料化学科 講師 木田拓充
- 環境科学会2024年会
環境科学会学術賞
環境科学部環境政策・計画学科 教授 村上一真

団 体

- 第7回リカジョ育成賞 グランプリ
公立大学法人滋賀県立大学
集まれ！未来で輝くクリエイター+系女子in滋賀
-女子中高生の理系進路選択支援の取組-



人事

着任 2024年9月1日付

李 晔鎮
人間文化学研究院 講師



2024年10月1日付

藤井 愛
人間看護学研究院 助手

滋賀県立大学 公式 Instagram ページ

[アカウント] @univ_shigapref
[URL] https://www.instagram.com/univ_shigapref/



学生 Instagram スタッフ活躍中！
ぜひ、フォローしてください！



滋賀県立大学は、2025年6月に開学30周年を迎えます。2025年6月7日(土)には開学記念式典を予定しています。開学30周年を迎える滋賀県立大学に、是非ご期待ください。